

軍艦圖解考例

一此諸圖ハ西洋軍船ノ模圖式ナリ 正榮 頃其諸圖釋解ノ
命ヲ奉ス謹按此圖和蘭ユトレキト 和蘭七列 於テ可鹿涅カス カス 吉カ白兒ト
云書鋪官準ヲ得テ印鑄スル所一幅ノ大圖ナリ其標題諸言ヲ譯スレハ軍艦
新鑄全圖情濟諸家及航海船師ノ為ニ設ル模式大小數多ノ標舟繩ノ狀并
船板ヲ切り割シ合船ノ内形ヲ見シ且其首尾ヨリ望ム所又大小脚船内外ノ狀或負
船駝背等ノ諸圖此餘船中裝載スル所ノ要用ノ諸具ヲ雜載ストアリ 正榮
今コレヲ各葉ニ分散模寫シテ展開觀覽ニ便ス左圖傍ノ名ト用トヲ譯シ
畧説ヲナス其説ナキモノ如キハ他書ヲ考索シ毎側ニ傍釋ヲナセリ又且他別
幅軍船諸圖ヲ前後ニ増續シ本圖ヲ明辨スルノ一助トス故ニ軍艦圖解ト題ス
事兩リ

一按歐邏巴洲方ノ國俗專ラ他洲外邦ニ航海スルノ業ヲ常トシ船ヲ絶域數萬
里ノ外ニ通シテ互市貿易ヲ事トシ各國ノ君長多ハコレヲ以テ恒ノ産トス若
或ハ無人地人跡更ニ通セサル土壤ヲ得レハ新ニ人衆ヲ植テ土宇ヲ開拓シ通市交易
道ヲ開キ悉ク自國ヲ富ス第トス因テ海船ノ製心ス巨大深高造巧營作極
堅固ナリ故ニ舟中其事ヲ總督スル貴官モノアリ司教アリ醫官アリ交易ノ
長アリ等計ノ輩アリ諸卒數百水手モ亦然リ要用ノ器具尤完備殊深水
穀麥牛豚等ノ食料三年ノ蓄ヲ為シ開帆ス且船ノ兩側大砲數門ヲ設ケ及戎
器ノ諸種トイヘ凡具備セサル事ナレコレ皆國主數萬金ヲ費シテ造營セシトナリ
其ノ尋常ノ高船トイヘ凡斯ノ如ク糧具ト銃砲等ヲ備ルモノハ自國ヲ開帆シ數千
里外ノ異方遠洋ヲ涉ル事ナレハ其不慮ノ變ニ供スル為ナリトソ故ニ大船ヲ別稱
シテセーカステールトモ云是海城ノ義ナリ

一船ノ本稱和蘭語ハルトイグト云渡海ノ具ト云義ナリ其造營前條説クカ如キ
巨船ハ惣シテシキツト云故ニ此圖モ「オ、ル、ク、ス、レ、キ、ツ、ト」云ナリ「オ、ル、ク、ハ、軍ノ
事ナリ故ニ軍艦ト譯ス 彼船ノ名大小形状ニ因テ各其名ヲ異ニス他邦ノ舟船トイヘトモ
其造巧ノ式様ヲ分ツ設ベ支那船ヲヨシクト呼ヒ日本造リノ
船ハハルツト云カ如シ長崎從來入津ノ和蘭商船内外
形状見聞及ヘルモノ後ニ録シテ參考ニ充ツ

一コレヲ業トスル舟師ハ幼ヨリ其藝ヲ專精練シ水理熟シ海路ヲ暗ス
假令ハ其淺ヲ慮リ其礁ヲ慮リ或ハ海程ノ遠近及國土島嶼ノ定向
占風等ニ至ルニテ盡クコレヲ究メサル事ナレ彼方倭此術ヲ以テ一固專
要ノ一大技藝トナスナリ

一和蘭此一術ヲ以テ分テ二途トス一ヲ小洋涉ト名ク一ヲ大洋ト名ク其小洋涉
ナルモノハ其通船往來現在目ニ觸ル所ノ土地ノ方位彼是相隔ルノ

假令ハ其淺ヲ慮リ其礁ヲ慮リ或ハ海程ノ遠近及國土島嶼ノ定向
占風等ニ至ルニテ盡クコレヲ究メサル事ナシ彼方信此術ヲ以テ一固專
要ノ一大技藝トナスナリ

一和蘭此一術ヲ以テ分テ二途トス一ヲ小洋涉ト名ク一ヲ大洋ト名ク其小洋涉
ナルモノハ其通船往來現在目ニ觸ル所ノ土地ノ方位彼是相隔ルノ
遠近地勢山岳ノ形象且其幽明大小望公時ノ且暮ニ由テ種々變態ヲ為ス
等ノ事ヲ目ニ熟シ心ニ會シ或ハ風候ヲ占ヒ潮汐ヲ考察スルノ類ナリ其器

械ノ如キハ針盤羅經ヨ第一也或測深鉛槌
和蘭ノイブロート云コレハ海ノ淺深ヲ
測ル器ナリ鉛或ハ錫ヲ以テ槌提ノ如ク鑄
造シタルモノ長索ヲ施セルモノナリ其線ヲ盤下ニテ海ニ
投シ其底ニ至ラズ文化ロ子骨西亞船將末ノモノヲ見ル
ナレハ泥土沙地ナレハ沙ツキテ盤ル又
岩地ナレハ其底ニ墜ツキテアカルナリヲ用テ淺深ヲ測リコト云器ヲ用テ里數ヲ計ルノ類皆

此術ノ最モ費用トスル者ナリソフ舟ヲ進ムルハ嘗テ自ラ煉熟スル所見解ヲ
以テ四方ニ涉海スルナリ其一大洋涉ト稱スルモノハ固ヨリコレ等ヲ習熟備要
スルノミナラス其舟師タルモノ天學ヲ學ビテ曆法天象ニ通曉ノ其基趾トナス

ナリコレ山岳嶋嶼ヲ準的トシテ到ルヘキノ近地ニアラス絶遠數萬里ノ國寺
志ノ航リスル危殆ノ術ナレハナリ故ニ專ラ晝ハ太陽ノ高度ヲ考ヘ夜ハ周天

星宿ノ高下ヲ考フ殊ニ恒星天第八天日曜天 第四天 月曜天 第一天
動ヲ點識會得シ尤其測器諸具ノ功用ニ熟スルヲ要務トナスナリ

一右西洋船及舟師專務ノ大畧ナリ意フニ軍艦ノ制亦コレト大同小異但其
造切殊ニ嚴整堅固第一ハ大銃ノ門數ヲ増シ火藥ヲ貯フル事過量或ハ

戎器兵具ヲ備ヘ火攻諸器ヲ具シ銃手軍卒數人ヲ駕シ最モ熟練ノ船師
使令ヲ司ル將帥コレガ主トナルノ類ニ尋常商船ニ備ル所ハ固ヨリ其中ニ

在ルベシ故ニ前條件々先ツ尋常西洋船ノ略ヲ録示セルハコレガ為ナリ

一嘗テ聞ク西洋諸國海陸戰軍我本領自國ノ域内ニ於テ戰鬪侵奪ノ
事ナレ古來多クハ軍陳トイフハ陸軍水軍共ニ其地海ニ連接ストモ他領

域外ノ諸地ト合戦シ互ニ勝敗アリテ其土地ヲ從屬セシムル事ノ由傳ヘ
聞ク拂郎察國ト諸厄利西國ト水戦シ或ハ魯西亞ト都兒格ト陸軍スト

イフノ類ニコレ猶我邦ニ譬フシハ三韓肅慎等ノ海外ノ國ト軍戦アリシト
云カ如ク又唐土ナレハ界外ノ匈奴ト戰ヒ鄂羅斯ト爭フトイヘルノ類ナルベシ

尤海ヲ隔ルノ外邦トハ每度水軍ノ事アル故ニ常ニ水軍ヲ練練シ軍艦ヲ
造制スル事極テ多ク沿海ノ諸國ニ在テ殊ニ數百ノ大小戰艦ヲ備ヘ浮フト云

一原圖雜載一幅ハ專ラ模圖式ヲ主トシ別ニ造切ノ法ヲ附説スルモノナシ竊ニ
思フニコレ其舟師ト工匠ニ在テハコノ模式ヲ見テ其要ヲ知り得ヘ假令ハ一船

横斷圖及首尾ノ分圖或圖側ノ量尺等ヲ見ルカ如キモ能クコレヲ辨スル又
大銃九十六門ヲ備フルノ船トイハ其船ノ大小長短モ自ラ辨スル事ナルヘ但我

輩ニ於テハ更ニ辨知スヘカラサル所ナリコトヲ以テ別ニ諸圖ヲ併セ模シ聞見諸説ヲ
採録雜記ノ傍ラ愚考ヲ附セリ此模式ヲ見テ今更ニ彼ニ効ヒテ縱造ノ事ニ

及フヘカラストイヘ凡西洋軍船制巧ノ畧ヲ知ルニ足ルヘ人宜ク彼ト此ト比技セハ
或ハ其大要ヲ得ルモノアラカトシテナリ其測量器械諸器ノ如キハ固ヨリ其徒ノ

常ニ講習熟用スル所ナルヲ以テ詳説ニ及ハサル事ナルヘシ

軍ニ於テハ更ニ辨知スヘカラサル所ナリコトヲ以テ別ニ諸圖ヲ併セ模シ聞見諸説ヲ採録雜記ノ傍ラ愚考ヲ附セリ此模式ヲ見テ今更ニ彼ニ効ヒテ縦造ノ事ニ及フヘカラストイヘ凡西洋軍船制巧ノ畧ヲ知ルニ足ルヘシ人宜ク彼ト此ト比技セハ或ハ其大要ヲ得ルモノアラシカトシテナリ其ツ測量器械諸器ノ如キハ固ヨリ其徒ノ常ニ講習熟用スル所ナルヲ以テ詳説ニ及ハサル事ナレハ

一 船中段階五層アリ每層其名アル事凡ノ如シ今長崎俗呼ヲ以テ譯ヲナス
左ニ其例ヲ示セリ

- 一 フルデッキ 船内ノ上面惣板張ノ處 コレヲフルデッキト云又半部ノミ張りタルモノアリコレヲフルデッキト云ハ物部ナリハナリ
- 一 オ、フルロフ 第二層 船ノ方ニハ加比丹ノ房室及諸役人ノ諸房アリ其次ノ方ニ銃砲ヲ備ヘ厄尉等ヲ設ケアリ舟子往來繁雜ノ間ナリオ、フルロフ即其義ナリ
- 一 五ツセンチキ 第三層 中間蓋ノ義ナリ
- 一 トロイム 第四層 廣處ノ義ナリ荷物ヲ積ミ貯フル處ナリ 所ヲ長崎ニテ荷固リト稱ス 俗呼ヲナリハ荷ヲ

一 第五層 船底ナリコレヲ長崎ニテ塗間ト云

一 ボート 脚船ノ大ナル者コレヲ長崎ニテ大バツテイラト云又石バツテイラトモ云

一 スルツ 脚船ノ小ナルモノヲ云長崎ニテ小バツテイラト云又花バツテイラトモ云

一 キール 船ノ底外ニ階ケ添ヒテ舵ト互ニ其用ヲナスモノナリ 本邦ノ船ニ設ケタルモノ洋船ニ在テハ專用ノ具ナリ俗呼ニキールカワラト云蓋ヲ按シ辨スヘシ

附 阿蘭陀ノ海船大小數種アリト云其長崎ニ入津スルモノヲ見ルニ大ナルモノハ長サ大約二十五六間幅六七間深サ七八間アリ櫓ハ長短三柱ヲ立ツ

十分ノ荷ヲ積ミタル水ノ上ニ浮ム處ニ間餘船脚輕クナレハ三四間アリ本船ヨリ外降スル梯子アリ着岸ノ上ヘコレヲ下メ本船ノ右ニ

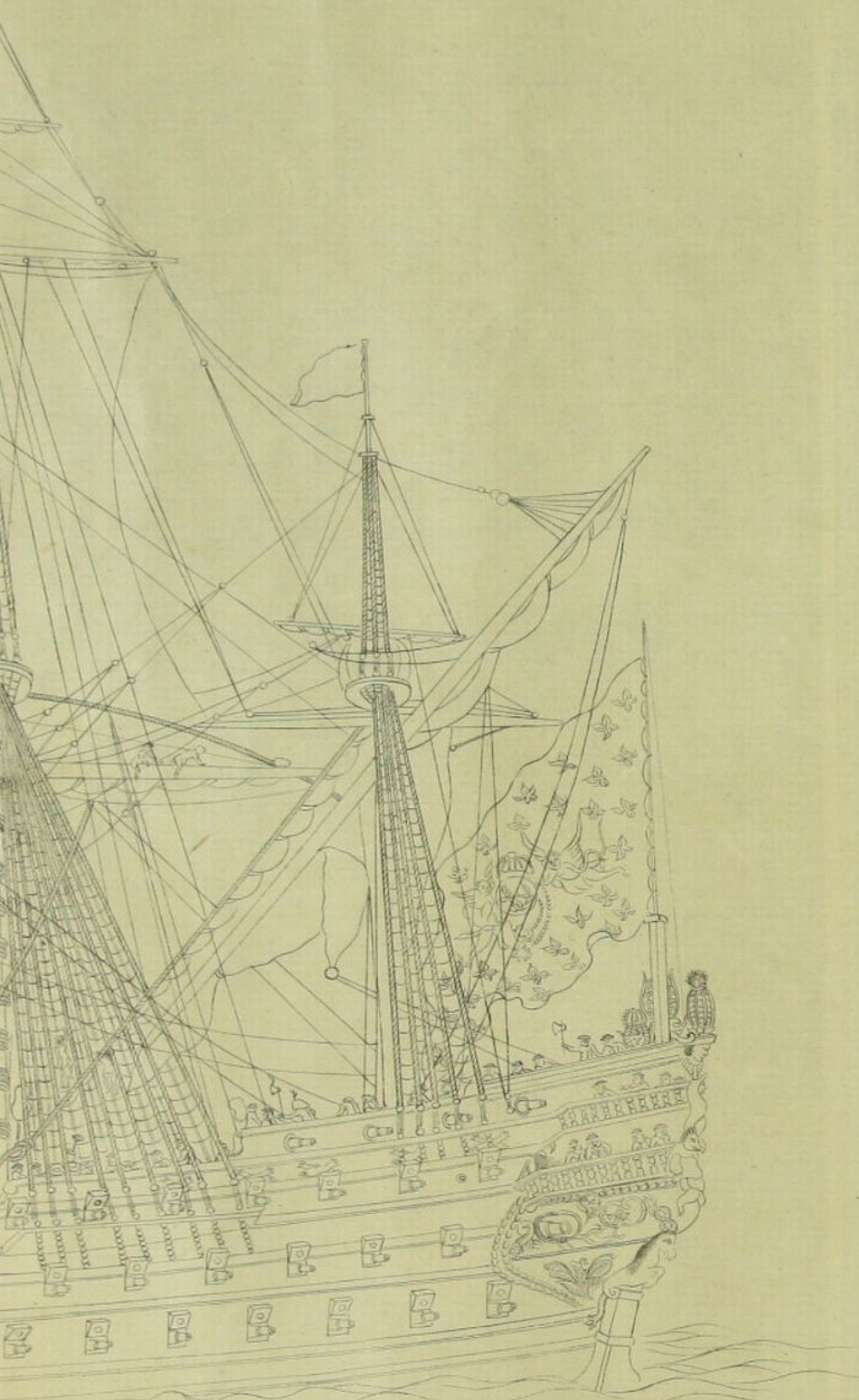
左右ヨリ三條ノ網ヲ垂レオクナリ其網ヲ捉ヘ登リ降リス 長崎方俗コレモ亦網梯子ト云梯子ハモト櫓ニ施セル數條ノ網ヲ稱スルナリ 船ノ外圍ハ盡ク番瀝青ヲ其上圍ノ處ハ油畫ノ具ヲ以

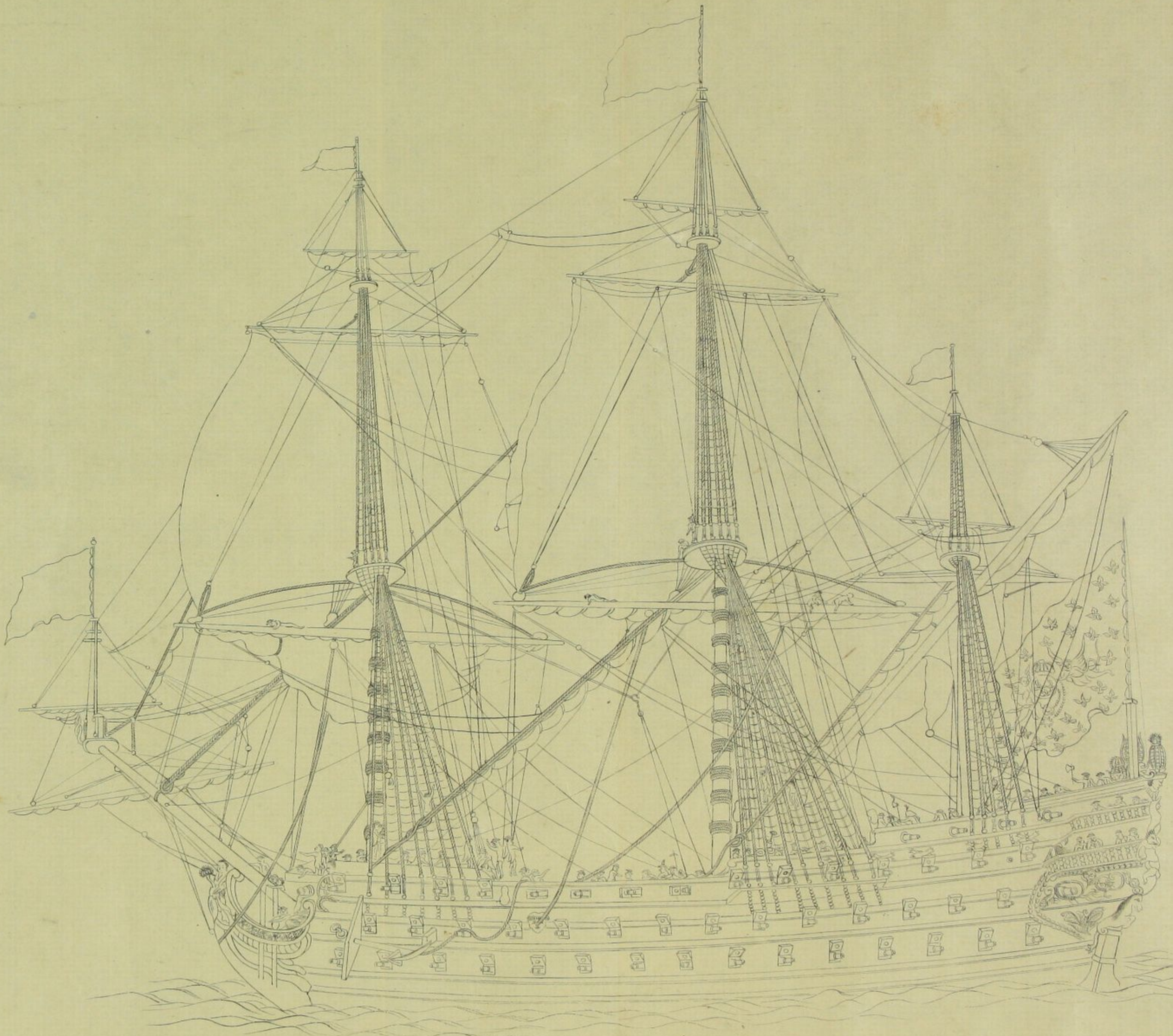
塗ル是ハ船主ノ好ニ應シテ白黄色等ノ間道ニ彩飾スルナリ船ノ左右兩側ニ銃窓ヲ並ヘ穿ツ其每一方ニ大銃十餘門ヲ開クコレ洋中不慮ノ要害ニ備ト云其入津出帆其他嘉例ヲ祝スルノ件ニコレヲ以テ空砲ヲ放ツナリコレ彼ノ國ノ風習打放三例ノ一式ニシテ此空砲ヲ放ツニ火藥ノ定量アリ時ニ臨ニテ索針役ヨリチキ出セト令スレハ銃手火ヲ点スルトキ先其船脇左側船股右側ト云事ヲ左右ヨリ大聲ニ呼リテ放ツ事十餘聲放チ了レハ其度毎ニ銃腹ヲ掃除シ火藥ヲ築實シ備フナリサテ其船中ハ段階アリテ四層或五層トナス最下ノ所ハ時トシテ塗ノ集ル事アル所ナレハコレヲ除キ其第四層ハ貨物ヲ積ムノ所トスコノ處船中ノ濶大ナル所ニシテ是ヲ荷箇 俗稱ト云 其第三層ハ食料及ヒ飲水其他日用ノ諸具ヲ儲置キ其第二層ハ乗組ノ諸役人及ヒ水夫等ノ居所トス但シ船ノ方ニ室ヲ設ケ船中ノ總管加比丹ト云者ノ房室トシテ疊ハカリノ坐敷ト三四疊ノ二間

アリテ四層或五層トナス取テ下ノ所ハ時トノ途ノ集ル事アル所ナレハコレヲ
除キ其第四層ハ貨物ヲ積ムノ所トスコノ處船中ノ濶大ナル所ニシテ是ヨリ
荷箇俗稱ト云其第三層ハ食料及ヒ飲水其他日用ノ諸具ヲ儲ヘ置ク其
第二層ハ乗組ノ諸役人及ヒ水夫等ノ居所トス但シ船ノ方ニ室ヲ設ケ船
中ノ總管加比丹ト云者ノ房室トシ十二疊ハカリノ坐敷ト三四疊ノ二間
アリ其入口ノ兩側ニ乗組諸役人ノ小室ヲ設ク是ヲ名テキヨイト蘭稱ト云
其第一層ヲカニバン俗稱ト云コレ船中上段ノ板ノ間ニシテ中以下ノ人平常
是ニ居シ操船ヲナス其船ノ方ニ船長ノ一室ヲ設クコレヲ俗ニ船頭部屋ト云
其兩側ハ小室數多ヲ設ケ船長以下按針役等ノ套房トス此ノ板屋房上
土ヲ實タル長キ箱ヲナシ其内ニ菜蔬ヲ植キテ日用ノ食料トス又鷄鴿
諸鳥ヲモコノ所ニ畜フコノ所ヲ名テカムバニ套房ト云一船ハ八百人以上乗
来リ各々其司ル所アリ加比丹ト稱スルモノハ高船ノ長ニ交易ノ事ヲ司ル
總管ナリ且 朝見ノ禮ヲ勒ル本職ナリ其他副屬諸官者アリ其
操船ヲ司ル者ヲカビテイニト云乃一船ノ長ニ航海ノ事ヲ司ル所謂船
頭ナリ其副官按針役ト稱スル者凡五六輩アリ是レ等皆天文地
理ニ通シ船長ノ補佐ナリ又醫師兩三輩アリテ疾病ヲ治療スル事ヲ
司ル尤銃師數輩アリ其外鍛冶縫帆工庖人及ヒ掌計工匠水夫等ノ
諸役アリ其外奴僕タル數人ノ鳥鬼ト云モノ等ニ至ルニ凡百餘人アリ
夫航海ノ術ハ第一羅針並萬國地圖及海圖其他種々測量ノ要
器等ヲ備フ洋中ニテハ帆數凡四十餘ヲ掛ケ風ノ強弱ニ應シ帆ノ數ヲ
増減シ順逆ノ風候ヲ考ヘ操船ヲナスコノ時ニ臨ニテハ船長タルモノ諸役
者ニ下知シテ總人數ヲ三手ニ分配シ譬ハ大櫓ニ某ノ上ニ按針役表櫓
某ノ按針役船櫓ハ誰某ト分テ按針役以下水支等ニ至ルニテ何レノ網
誰預リ何レノ罟ハ某ノ預リト各主役ヲ割りサテ船長ハ其總統ヲ司リ
海底ノ暗礁及ヒ土地方向風候帆使ヒ等ノ事ヲ考ヘ山ウプルト云器ヲ以
船中諸役ニ下知ス又執筆アツテ海上晝夜ノ記ヲ司ルナリ尤船中火制ヲ
嚴ニス火ヲ用ユル指揮長官者外ハ固ク禁制スコレ分ケテ船底ニ數補
ノ火藥ヲ積ミ置クカ故ナリ加比丹船頭ノ房室ハ硝子障子ヲ張り船ノ
方ヨリ明リヲ取ル其下段ニ至ツテハ暗シ故ニ玻璃燈ヲ以テ往來ス貨物ヲ
積タル第四層ノ所ハ帆布ヲ以テ其上下出入ノ口ヲ緊ク密封シ其上番瀝青
ヲ塗ルナリ是ハ洋中ニテ每度大濤ノ船中ニ入ル事アルヲ防ク力為ナリ
着岸シテ後ハ船ノ正中大櫓ノ傍ニ其已ニ密封シオケル孔口ヲ閉キテ通
用スコレヲ筒口ト云此所ヨリ荷物ヲ出入ス時々入レ日記ヲ以テ列キ合セ其荷
物ヲ上ルノ片ハ皆鈎ニ掛ケ網ニテ揚ク下スモ亦同シコレ共網ニ機關アリテ
何程重キモノニテモ人夫ヲ費サス容易ニ上下スル事ヲ便ナラシム又コノ孔口
帆布ヲ造リタル底ナキ囊ノ如キモノヲ懸ケ置クコレ船底ニテ事ヲ務メ
時上ヨリ風ヲ招クノ為ニス庖厨ハ一間半ニ二三間許内圍ヲ銅ヲ張り外
面ハ石灰ヲ塗リ固ム戸口ヲ緊ク鎖シ内ニテ煮炊ス此ノ如クニ造立スルカユニ
如何程ノ大風ニテモ電ノ傾キテ火ヲ誤ル事ナシ其上ハ煙窓アルナリ
用水ハホムプト云唧筒ニテ海水ヲ取り諸物ヲ洗ヒ淨ス又飲水ノ桶ニモ

何程重キモノニテモ人夫ヲ費サス容易ニ上下スル事ヲ便ナラシム又コノ孔ニ
帆布ヲ造リタル底ナキ囊ノ如キモノヲ懸ケ置クコレ船底ニテ事ヲ務ル
時上ヨリ風ヲ招クノ為ニス庵厨ハ一間半ニ二三間許内圍ヲ銅ニ張り外
面ハ石灰ヲ塗リ固ム戸ヲ緊ク鎖シ内ニテ煮炊ス此ノ如クニ造立スルカユニ
如何程ノ大風ニテモ電ノ傾キテ火ヲ誤ル事ナシ其上ハ煙窓アルナリ
用水ハボムプト云唧筒ニテ海水ヲ取り諸物ヲ洗ヒ淨ス又飲水ノ桶ニモ
右ノ機關ヲナシタル小器ヲ以テ水ヲ取り用フ如此ノ取淡水ノ費ヲ厭フ也
脚船ハ大小入レ子ニシテ本船ニ積ミ置ク又此傍ニ食料ノ牛乳野羊羊オトモ
畜ヒ置テ船ノ上頭ニテ處ニ硝子張りノ大金燈籠ヲ居夜陰ニハ火ヲ点ス
コレ一船ノ莊飾ヲナス又洋中類船アルハ後レタル船ヨリ前行船尾ノ光明ヲ見
テ後トヨリ進ミ行ク便リトモナルト云又遠ク隔ルハ空砲ヲ放チ知ラスル
事モアリトナリ都テ蘭船ノ造巧如此具備精細ニシテ商船トイヘ
其食料ノ如キハ常ニ三ヶ年ノ儲ヲナスト云飲水并酒類ヲ貯ル鉄箱ノ
六桶ハカリモ百箇餘モアルナリコレ風雜アリテ久シク漂泊スルノ變ヲ預メ計
ナリ又船ノ中ノ圍ハ上下二段目ニ目ニモ銃窓ヲ設ケ常ニ封閉シ事
アルハ速ニ大銃ヲ多ク施スヘキ要ヲ備フコレ軍船ニ代用スルタナリ尤時ニ臨テ
將師等ノ數人ヲ乗セシムレハ速時ニ軍船用ヲ為スナリ因テ思フニ蘭船
別稱セトカステールト云モノハ即チ海城ト云フノ義ニシテ別名ノ因テ起ルモ
コレヲ所ナルベシ其内外造巧ノ形容ヨリ其コレニ属スル處ノ諸具精備
ナル固ヨリ短紙ノ盡スベキアラズ實ニコレ其大較ヲ擧ルモノナリ

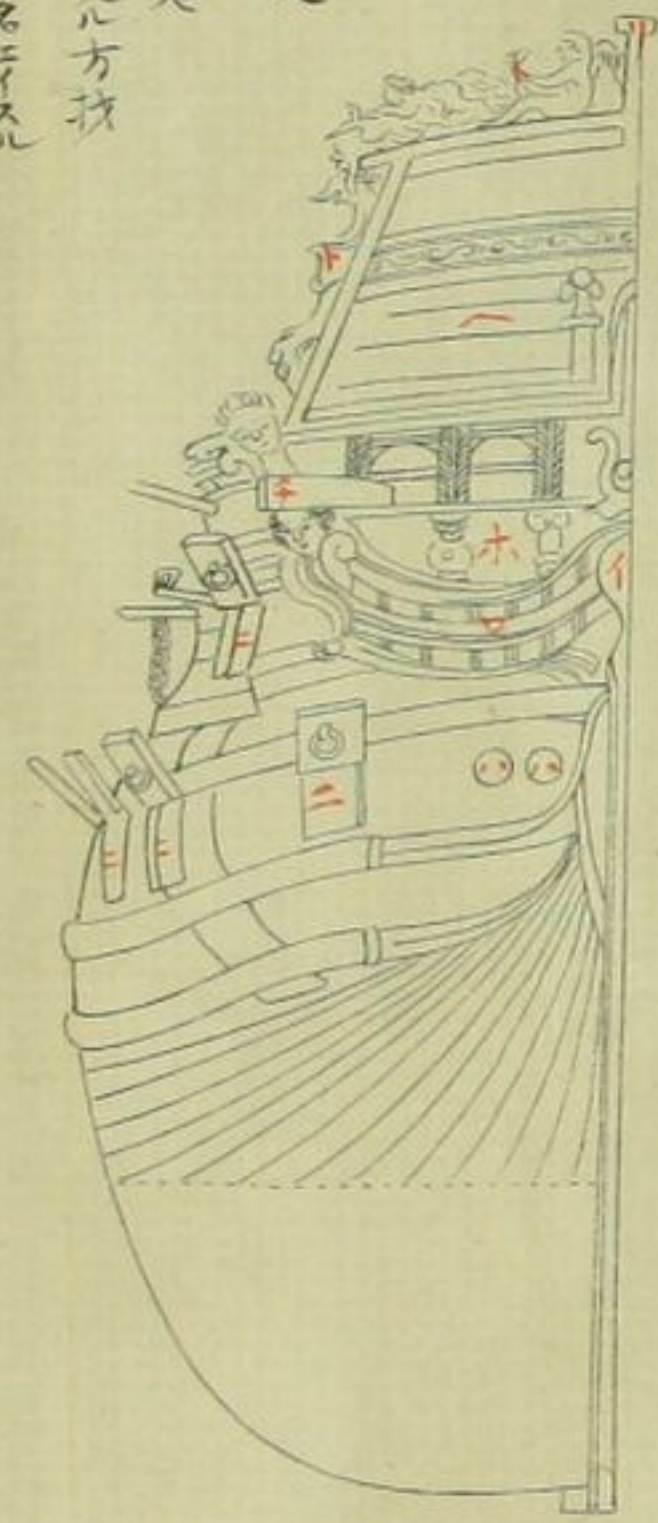
凡ノ軍艦諸圖ハ說ノ別ニ附載メコレヲ明詳ニスルモノナキヲ以テ新ニ說ヲ
立テコレヲ證スル事ヲ得ス故ニ和蘭一船ノ大畧ヲ此ニ附録ノ軍艦ト
高船トハ大同小異アルキ事ヲ說テ參考ニ充テ且聊カ聞見ノ及ヘル
所ヲ略舉スル事右ノ如シ後ノ識者ニ補訂ヲ密シタニ事ヲ希フ
處ナリ





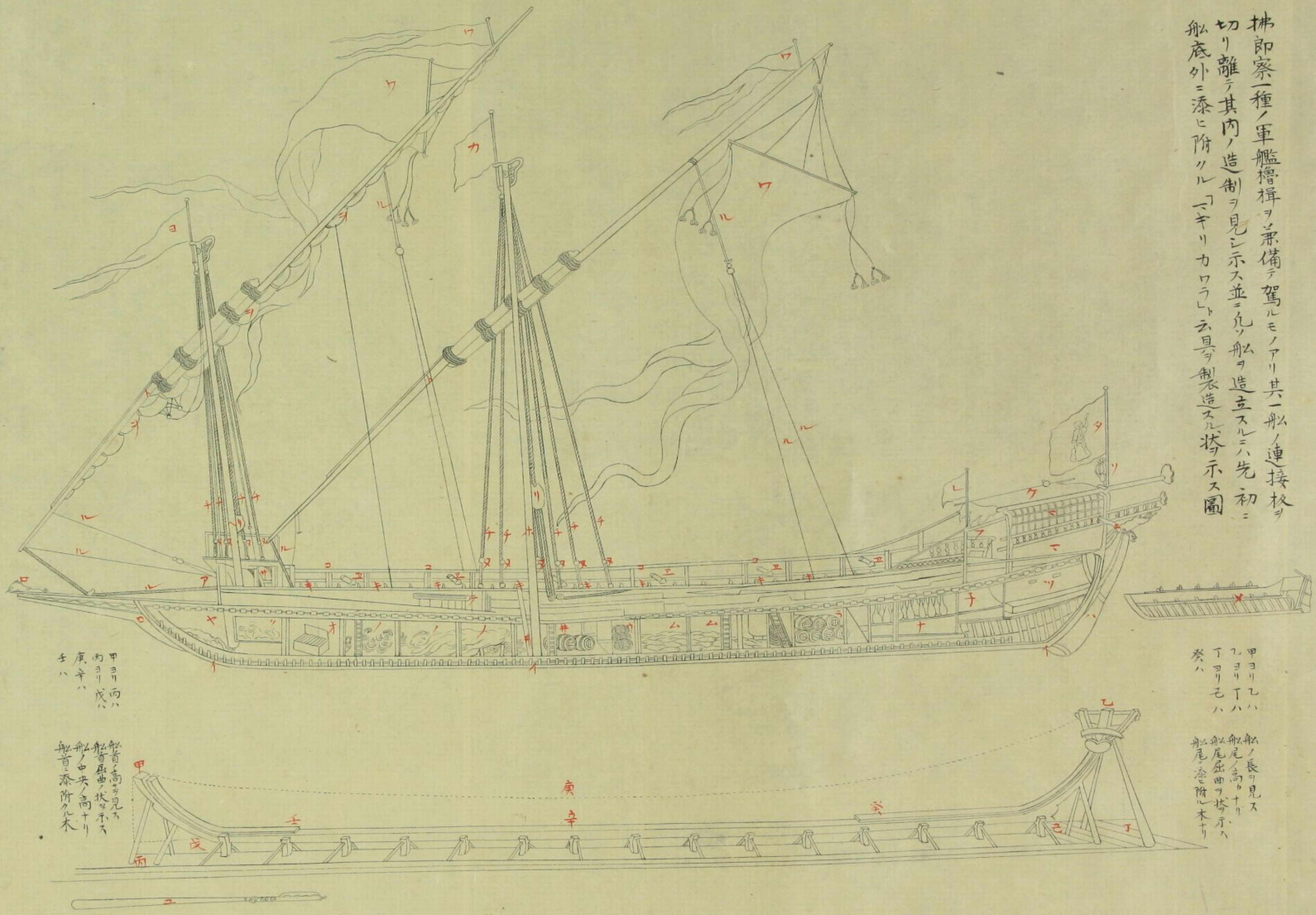
船ノ全状ヲ畧シテ 船首ヨリ
半幅ヲ示セル圖

- イ 船首木彫ノ獅子
- ロ 船首欄柵
- ハ 砲網ヲ穿テ高孔
- ニ 銃窓
- ホ 船ニ設ル船長ノ居室ヲ船首ヨリ見通シテ示ス
- ヘ 砲房上カハニ井ト名ル處
- ト 船ノ居室ノ外周ニ大隅人及ヒ
- チ 砲ヲ揚ケ釣リ置クニ設ル方枘
- リ 船ニ大旗ヲ立ル短柱ヲ示ス



ユトレキト新鑄
軍船模圖式大幅
初號

拂郎察一種ノ軍艦檣桿ヲ兼備テ駕ルモノアリ其一船ノ連接板ヲ
 切り離シ其内ノ造制ヲ見シ示ス並ニ凡ソ船ヲ造立スルハ先初ニ
 船底外ニ添ヒ附クル「キリカワ」云々製造スルヲ示ス圖



イ 一キリカワ船底外ニ添付スルモノ
 口 船首ノ架木并 船梢ニ筋ル魚形
 ハ 船桿
 ニ 大橋 中央在リ
 ホ 表橋 船首ニ在リ
 へ 真切帆ヲ掛ル帆架
 ト 橋ヲ固持スル大綱
 チ 帆架ヲ引揚ル絞及大綱
 リ 大綱尾ヲ牽急スル絞
 ス 帆架ヲ緩急スル綱
 ル 表橋ニ施ス帆
 ヲ 帆架ニ施ス大小飄帶
 ヲ 大橋頂高ニ設ス旗
 カ 表橋頂高ニ施ス小飄帶

ソ 玻璃燈
 ツ 船將房室
 子 軍議會處
 ナ 船中兵糧酒食諸具蓄場
 ラ 水桶庫
 ム 食糧庫
 ウ 酒庫
 ヲ 火薬并彈丸庫
 ノ 帆或網具ホリ納ル庫
 ヲ 醫治諸方藥ヲ儲ル庫
 ヲ 養病所
 マ 菜肉蓄生鮮ヲ存セシ處
 ヲ 船尾樓
 ケ 遮陽 帆布又他布ヲ以テシテ張ル
 フ 船尾ノ櫓

テ 大橋ト表橋ノ間ニ筋ル一大銃
 ア 船首ニ備ル銃砲
 サ 船首ノ櫓板
 キ 擲桿ノ櫓
 ニ 擲桿
 ヲ 脚船

甲 甲ヨリ四ハ
 丙 丙ヨリ成ハ
 壬 壬ハ
 船首ノ高ヲ見ル
 船首ノ曲ヲ扶メ示ス
 船ノ中央ノ高ナリ
 船首ノ添附ル木

甲 甲ヨリ乙ハ
 乙 乙ヨリ丁ハ
 丁 丁ヨリ己ハ
 己 己ハ
 船ノ長ヲ見ス
 船尾ノ高ナリ
 船尾ノ曲ヲ扶メ示ス
 船尾ノ添附ル木ナリ

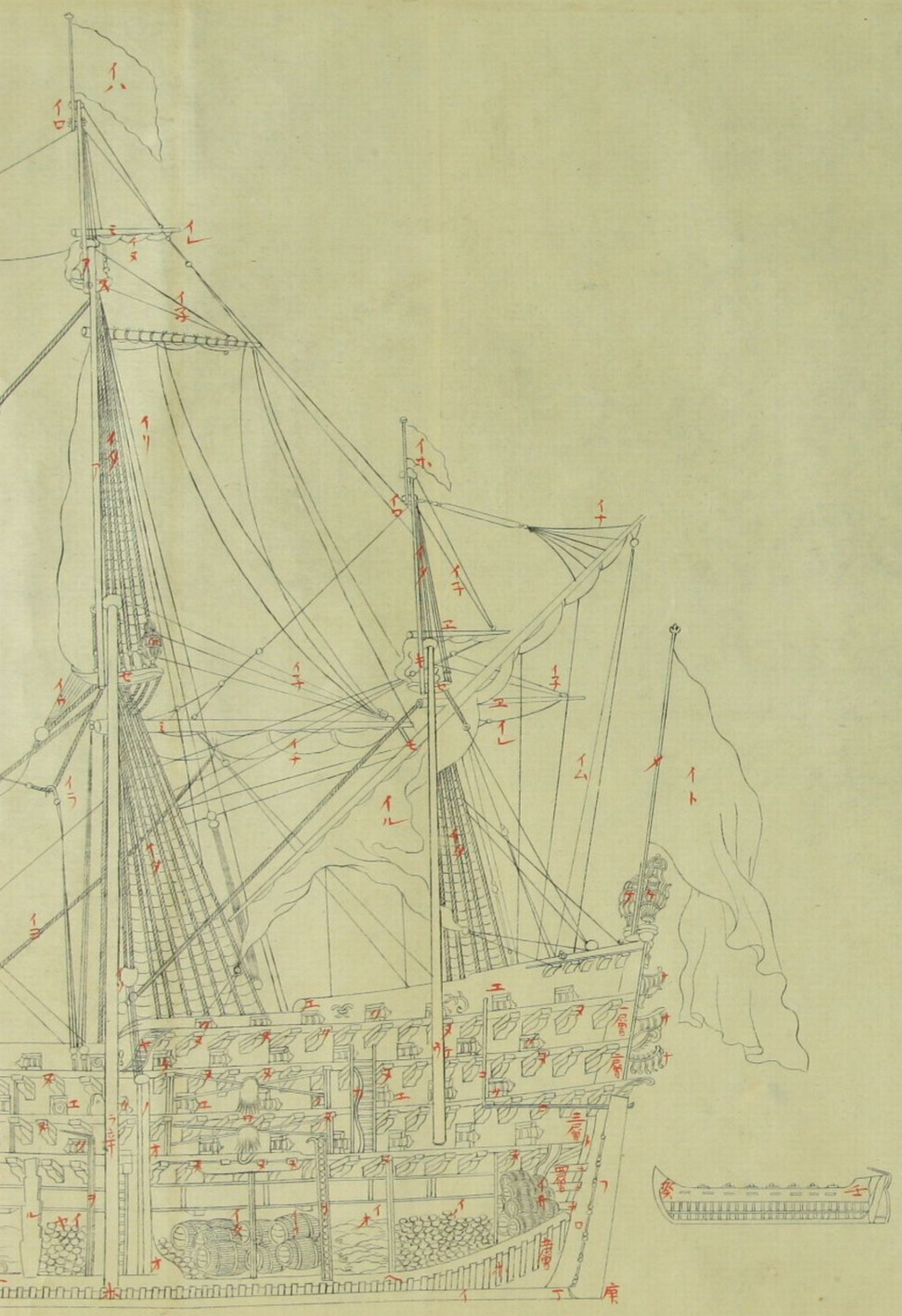
千 橋固持大綱
 リ 帆架引揚り伎籠及大綱
 ス 大綱尾牽急スル伎籠
 ル 帆架引揚急スル綱
 ヲ 表橋ニ施スル帆
 ヲ 帆架ニ施スル大飄帶
 カ 大橋頂高ニ設スル旗
 ヲ 表橋頂高ニ施スル小飄帶
 ヲ 船ニ立ル大旗
 ヲ 同槽ニ立ル小旗

井 火藥并彈丸庫
 ノ 帆或綱具ホリ納ル庫
 オ 醫治諸方藥ヲ儲ル庫
 ク 養病所
 マ 菜肉ヲ蓄テ生鮮ヲ存セシム所
 ヲ 船尾樓
 ケ 遮陽 帆布又帆布ヲ以テテコトテ
 フ 船尾ノ櫓
 コ 船ノ両側ヲ圍ム櫓板
 エ 同上備ル銃砲

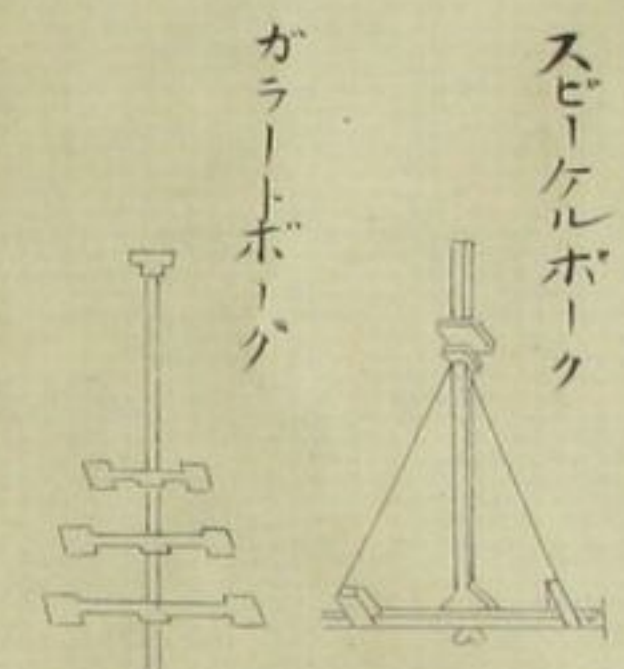
拂郎察軍船ノ魁首トナル巨艦一船ノ半幅ヨリ切割シ合船ノ内形
 操舟網ノ狀等側面ニ見シ造巧量尺ノ模式ヲ示ス圖コレ左右ニ大銃
 百四門ヲ備ル軍艦ナリ

甲ヨリ乙ニ至ル船長廿 二十七間八合七寸五分
 丙ヨリ丁ニ至ル船長廿 二十二間六合三分四分
 丙ヨリ戊ニ至ル船長廿 二間七合九寸八分
 丙ヨリ己ニ至ル船長廿 六間九合零七分
 丁ヨリ庚ニ至ル船幅 九合零五分三分
 丁ヨリ乙ニ至ル船尾ノ高廿 五間二寸零七分
 辛 船ノ中央横幅 七間二合四分三分
 右大尺原本拂郎察尺法ヲ以テ記ス今コレ我由尺法ニ換テ記ナセリ尺六面語了ト云拂郎察一尺トハ我由尺ニテ
 一尺零七分ニ當ルナリ假令ハ初ノ甲ヨリ乙ニ至ル船ノ長八百六十フートアリコレヲ和法ニ改シ八二十七間八合七分五分也
 此圖コレヲ以テ推シ知ルヘシ

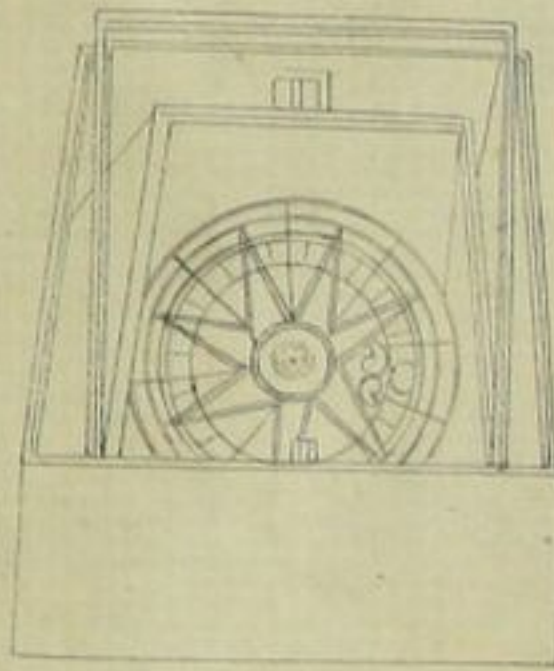
第一層屋上迄ノ高廿 九合八分七寸六分
 第二層 高廿 一間一合三分四分
 第三層 同 一間一合三分四分
 第四層荷箇中央高廿 三間六合二寸五分
 第五層八注間ノ圖ニ照シ知ル可シ
 壬 船ノ脚ノ船ヲ示ス圖ナリ



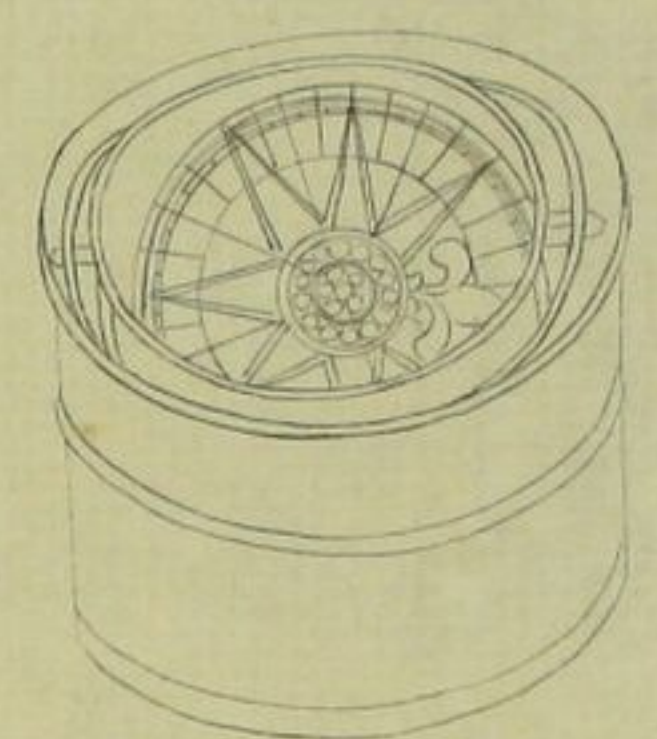
度數ヲ測ル器漢
コレヲ望遠ト譯ス
海上ニ在テ太陽ノ高
度ヲ測リ船ノ所在
ヲ測定スルニ要ス



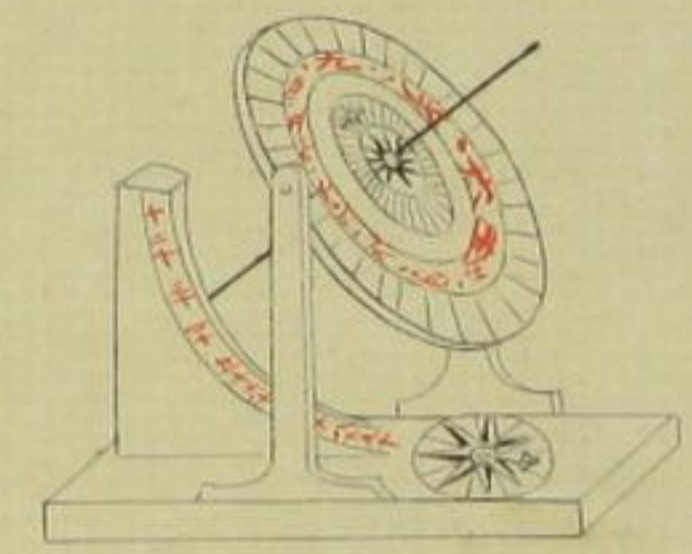
ベールコムパス
自由方針盤



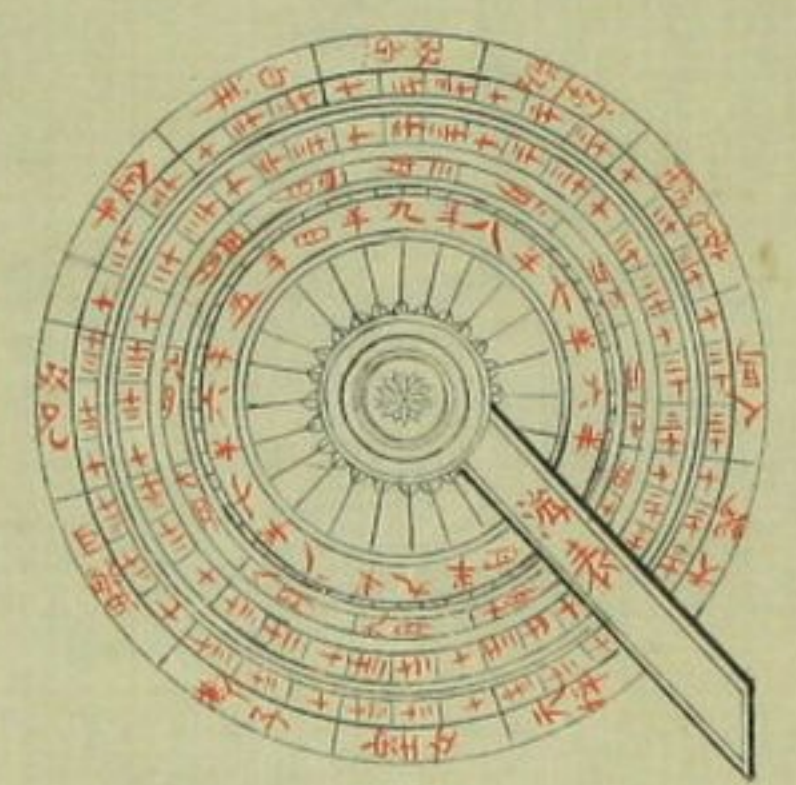
七一
コムパス
海船自
由方針盤



赤道日晷
原名キリキリコムパス
太陽極軸ニ心
スル景ニシテ亦
道盤ヲ受ケ平
時ヲ求ル地海方
針盤トモ萬國通
用ノ時候器ナリ



星晷
原名リトコトニ七
年中ノ時候ヲ推
シ北辰ト北斗ノ兩
星ヲ按測シテ依
テ千時ヲ求ル
地海方ニ用サレ
萬國通用器ナリ

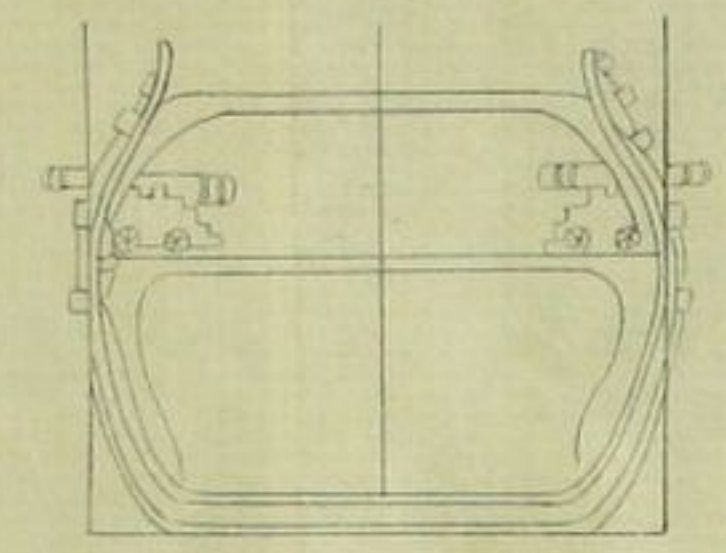


三十二風

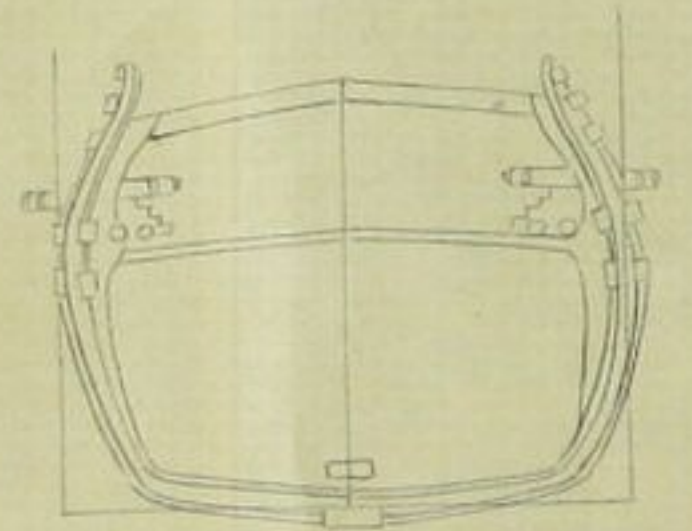


第三號

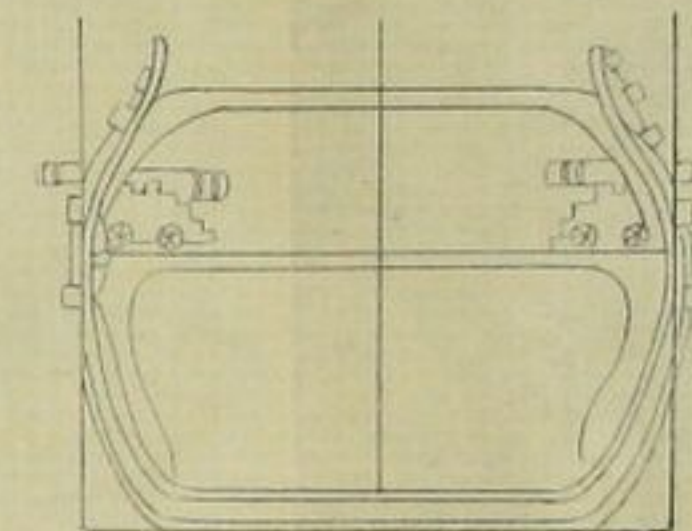
船尾ノ正面ノ内間
板ヲハリタル外圍
ヲ見シ示スノ圖



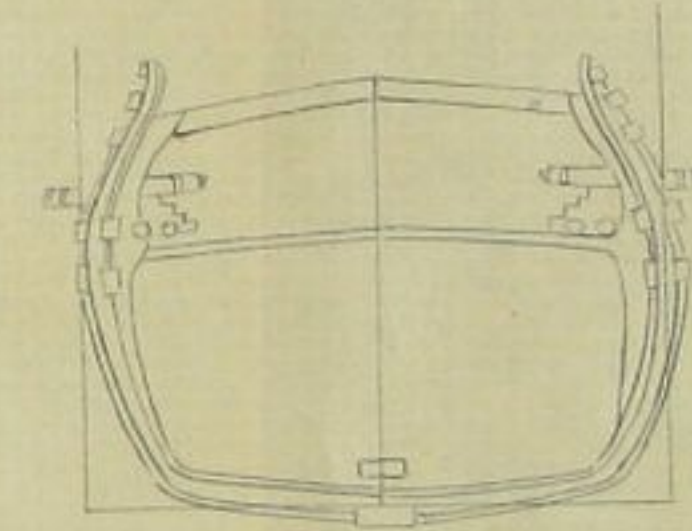
船尾ノ正面ノ内間
板ヲハリタル外圍
ヲ見シ示スノ圖



船尾ノ正面ノ内間
版ヲハリタル外圍
ヲ見シテ示スノ圖



船尾ノ正面ノ内間
版ヲハリタル外圍
ヲ見シテ前圖ト異ル
形ヲ示スノ圖



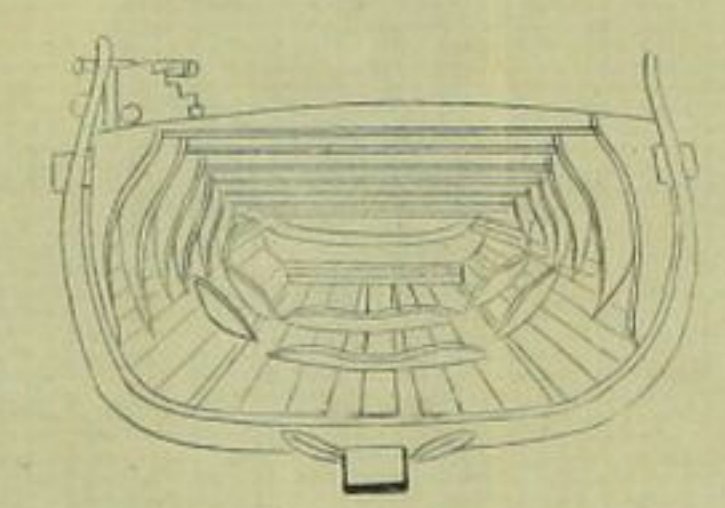
船尾ノ正面ヨリ上
段カンバト呼フ所
下方ヲ見タル圖



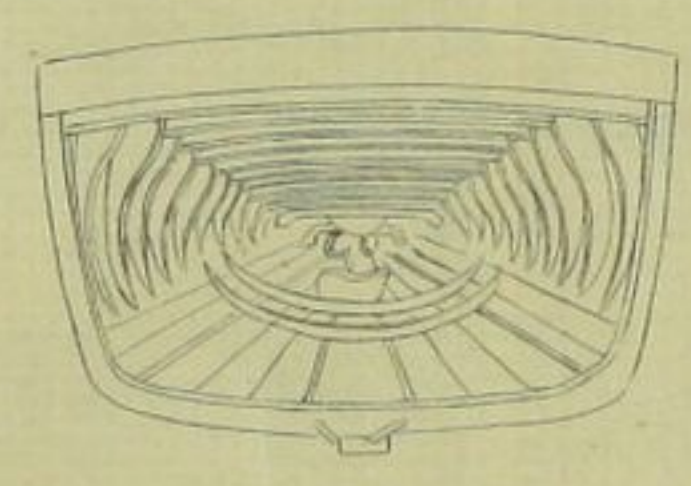
船首ノ正面ヨリ上
段カンバト呼フ所
下方ヲ見タル圖



船尾ノ正面ヨリ
荷筒ノ部ヲ
見タルノ圖

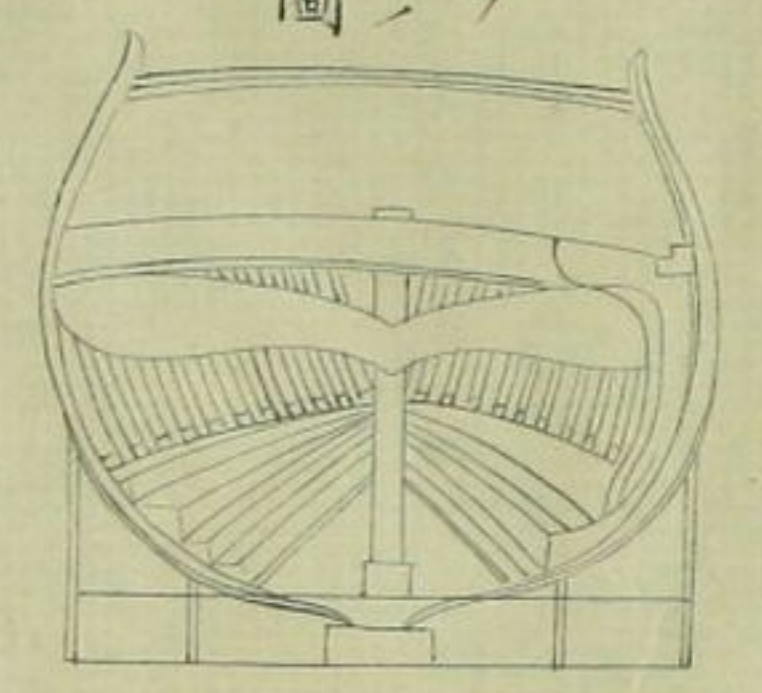


船首ノ正面
ヨリ荷筒ノ
部ヲ見タルノ圖



第四號

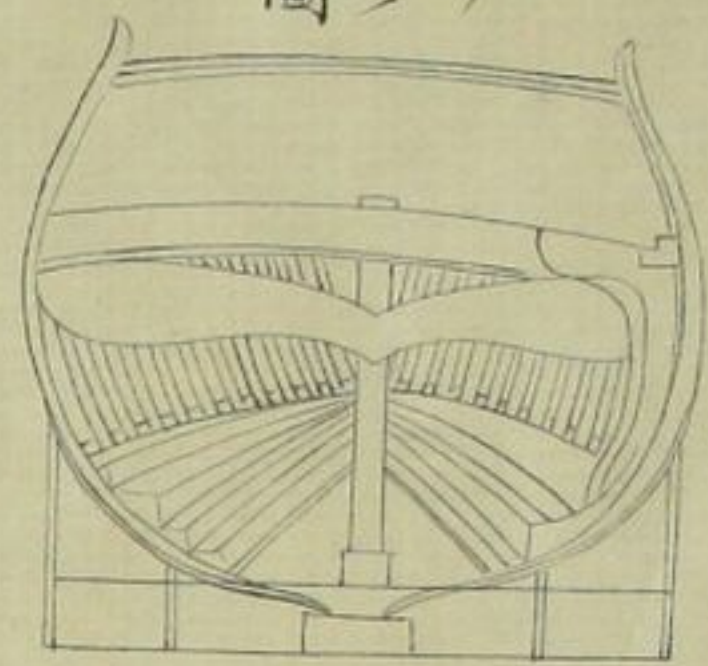
船尾ノ張板ヲ
ハナシ荷筒以下ノ
全状ヲ見タルノ圖



船長軍船尾下邊
鏡面ト云フ所ニテ
全形ノ正面見タル
鏡面ト云フ所ハ
板ヲ堅ニ張リタ
ル平面トナリ



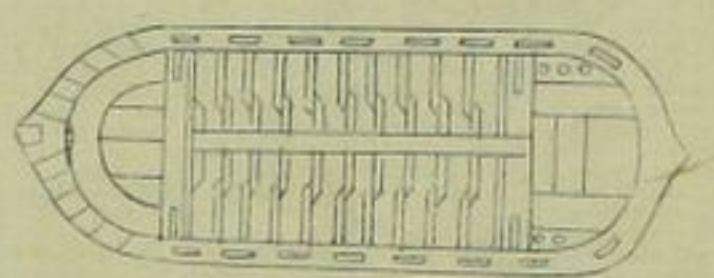
船尾ノ張板ヲ
ハナシ荷筒以下ノ
全状ヲ見ルノ圖



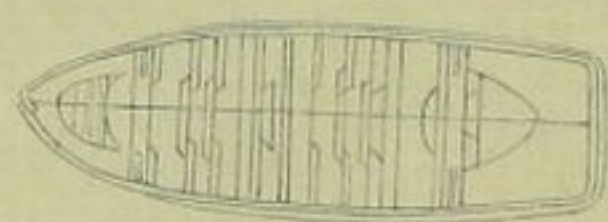
船長軍船尾下邊
鏡面ト云ル所ニテ
全形ヲ正見ルノ圖
鏡面ト云ル所ハ
板ヲ堅張リテ
ル子面トナリ



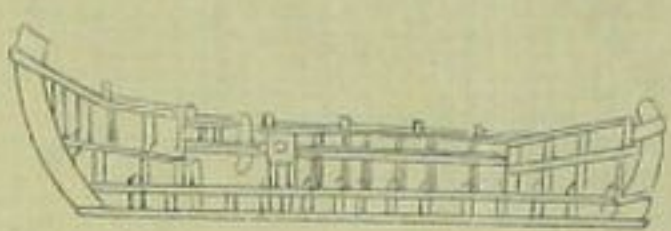
大脚船ノ上
面ヲ示ス圖



小脚船ノ上
面ヲ示ス圖

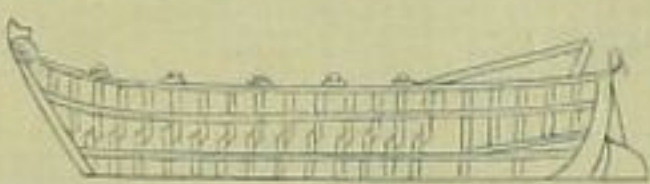


大脚船側面ノ板
ヲ切りハナシテ其
内ヲ見タルノ圖



尺度
按テ船ノ長
トシテ專用尺
トシテ測ルハ我
大尺ノ類ニシ

小脚船側面ノ板
ヲ切りハナシテ其
内ヲ見タルノ圖



尺度

水戰軍令大畧紀聞

- 一 海軍雙方將戰シトスルハ先ツ大銃彈丸ヲ装セサル空砲ヲ放チ船中備フル處ノ赤旗ヲ網ニテ引キ揚ク退陣ノ時ハ喇叭ヲ吹テ不鼓ヲ鳴シ其旗ヲ引キ下ルヲ相圖トス
- 一 水戰船十二艘ヲ一隊トスコシテ名ケテアロートシテ每隊巨艦一艘アリコレヲアドミラルト名ツ小軍ハ半隊六艘ヲモ用フ此ヲ法トシテ二隊五隊八隊ニモイクル
- 一 大軍ニ及テ敵味方互ニ船數二百四十艘ヲ仕出シコレヲ各廿隊トナリ諸卒皆船ノ上段ニ出張シテ戰ヲ事トス一人モ船底ニ隠クルモノアレハ軍法ニ行フ
- 一 雙方勝負決セス和睦ニ及フトキ互ニ使者ヲ遣シ熟談和義ノ押領ノ地生捕諸軍士並ニ其奪取リタル雜具ニ至ルニテ相互ニ返辨シテ和平ニ及フナリ但既ニ敵方ニ生捕ヲ殺ス片ハ和義トシタリ共味方ニテモ同ノ殺スヲ軍法ノ例式トナスナリ
- 一 敵船敗軍ノ降ヲ乞フ片ハ白旗ヲ引揚味方ニ見テ後ハ敢テ防害ヲナサルヲ式例トス但シ軍士等ヲ其船ニ遣シ船將ヲ我船ニ移シ衆組ノ諸卒ヲ生捕リ悉ニ諸兵器等ヲ大集取フトキ味方無勢ニテ到ルトモ敵兵聊カコレヲ避ケ作ケ違背スル事ナキヲ法式トス尤其空船ハ我兵集リ取ル也

一 味方ノ敵船ニ近キ軍用ヲ辨セントスル事アリ此時ハ脚船ニ兵士兩三人乘リ白旗ヲ

水戰軍令大畧紀聞

- 一 海軍雙方將戰ントスハ先ツ大銃彈丸ヲ装セサル空砲ヲ放チ船中備フル處ノ赤旗ヲ網ニテ引キ揚ク退陣ノ時ハ喇叭ヲ吹テ不鼓ヲ鳴シ其旗ヲ引キ下ルヲ相圖トス
- 一 水戰船十二艘ヲ一隊トスコレヲ名ケテフロート云々毎隊巨艦一艘アリコレヲアドミラルト名ク小軍八半隊六艘ヲモ用フ此ヲ法トシ二隊五隊八九隊ニモイクル
- 一 大軍ニ及テ敵味方互ニ船數二百四十艘ヲ仕出シコレヲ各廿隊ツナリ諸卒皆船ノ上段ニ出張シテ戰ヲ事トス一人モ船底ニ隠クルモノアレハ軍法ニ行フ
- 一 雙方勝負決セス和睦ニ及フトキ互ニ使者ヲ遣シ熟談和義ノ押領地生捕諸軍士並ニ其奪取リクル雜具ニ至ルニ相互ニ返辨シテ和平ニ及フナリ但既ニ敵方ニ生捕ヲ殺スハ和義トハタリ共味方ニモ同ク殺スヲ軍法ノ例式トナスナリ
- 一 敵船敗軍ノ降ヲ乞フハ白旗ヲ引揚味方己ヲ見テ後ハ敢テ防害ヲナサルヲ式例トス但し軍士等ヲ其船ニ遣シ船將ヲ我船ニ移シ乘組ノ諸卒ヲ生捕リ恣ニ諸兵器等ヲ奪取フトキ味方無勢ニテ到ルトモ敵兵聊カコレヲ避ケ作ケ違背スル事ナキヲ法式トス尤其空船ハ我兵乘リ取ル也

- 一 味方ヨリ敵船ニ近ツキ軍用ヲ辨セントスル事アリ此時ハ脚船ニ兵士兩三人乘リ白旗ヲ建テ行ナリ己ニ其船端ニ至リテ接話スル敵軍若シ存船ニ上ルヘトイハ先其敵方者我脚船ニ下リ乘ルヘト云ヘ彼レ昔シ此ニ乘リ來ラ我亦一人彼敵船ニ上リ角辨スレ其用事辨シテ脚船ニ返ラサル内ハ者ノ如ク人若代リヲトルヘシ
- 一 我陸地ニ在リ若シ人敵船ヨリ上陸シ來リ軟言ヲ吐柔諾ヲ以テ應接スル事アリコレ必ス謀計ナリ知リ速ニ其人ヲ驅ツテ逐ヒ拂スレ
- 一 敵船ヨリ我陸陣ニ使者ヲ送ルハ彼レ小船ニ乘シ白旗ヲ建テ喇叭吹キ或ハ大鼓ヲ鳴シ來ルヲ式法トス其使者上陸シ軍將ノ麾下ニ伴ヒ行クハ其使者各棉布ヲ以テ其眼ヲ覆ヒ扎定スヘ其至ル所ニ伴ヒテ覆巾ヲ脱セシムレ往返共味方ノ地理要害ヲ見セシメサルカ為ナリ
- 一 吾軍令ノ大法ナルニ唯是僅ニ彼畧説ヲ得名ヲ以テ譯述スル處ナリ聊カ彼海軍ノ式例ヲ見ルニ足ルト云ヘシ

天

鐵道院 第五二二號

大正二年三月十日
山崎半之助

寄附者後代
竹内辨藏殿

八幡宿傳寺揚揚構内樹木
寄附方市井中出之伴承
謝改也

追テ板付方ハ曰張長及古午
葉係係以之ヲ伊ト市打合也
敬之也

竹内辨藏
大正二年三月十日

竹内辨藏

一敵船ヨリ我陸陣使者ヲ送ルルハ彼レ小船ニ乗シ白旗ヲ建テ喇叭吹キ或ハ大鼓ヲ鳴シ
 来ルヲ武法トス其使者上陸シ軍將ノ麾下ニ伴ヒ行クハ其使者各棉布ヲ以テ其
 眼ヲ覆ヒ扎定スヘ其至ル所ニ伴ヒテ覆巾ヲ脱セシ台ニ往返其味方ノ地理要害ヲ
 見セシメカカガナリ
 右軍令ノ大注ナルハ唯是僅ニ彼畧説ヲ得ルヲ以テ譯述スル處ナリ聊カ彼
 海軍ノ武例ヲ見ルニ足ルト云ヘシ

天

鐵東卷 第五二二號

大正二年三月十日

古部鐵道至多里高長
山口洋平之助

寄附者後代
井内辨藏殿

八幡宮宿傳寺揚構内ノ樹木
寄附方申中出之件承
諸殿也

追テ植付方ニ曰欲長及古午
葉係線区ニ主伊下市打合寺
敬叙也

鐵道院

井内辨藏

井内辨藏

東部鐵道會館

泚名典氷
結句漢學見舟六
古名漢

古名漢

井内辨藏

井内辨藏



寄附者
總代竹内并藏殿



勝侯氏曰菴書

洋学文庫

文庫 8

C 963

